

# 平成28年度 生涯学習講座一覧

実施日	講座名	演題	概要	講師	会場	参加人数
8月28日	新 津市誕生10周年記念 歴史講座	考古学から見た 津市2万年の歴史を語る	私たちの先祖である旧石器・縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安時代の人々が、津市に残した注目される遺跡(遺物)を紹介しつつ、津市の原始古代の歴史を分かりやすく語っていただきました。	皇學館大学 文学部 教授 岡田 登さん	津中央公民館 会議室	延べ 229人
9月3日		県都津市の誕生	廃藩置県で安濃津県の県庁所在地となった津。津はその後、県都としての地位をどのように築いていったのか。1871年の廃藩置県から1889年の市制施行までを中心に、全国的に進行した町村の大合併や、県内の他都市(たとえば宇治山田)との比較を通して、津市誕生の過程に迫ってみました。	皇學館大学 文学部 准教授 谷口 裕信さん		
9月10日		関ヶ原戦後の 津城主・伊勢上野城主	関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、慶長八年(1603年)に征夷大將軍となって江戸に幕府を開いて全国を支配したように思われていますが、実は豊臣政権はまだ存続していたとみなければなりません。 幕府がどのように豊臣政権と対抗していったのか、津市域に領地を得ていた富田知信、分部光嘉・光信父子、藤堂高虎などの大名の処遇を中心に、三重県全体にも目を配って考えてみました。	皇學館大学 文学部 特別教授 上野 秀治さん		
9月16日	新 津市誕生10周年 記念特別展覧会 記念講座	古墳時代のお葬式	前方後円墳を中心とする古墳について、その築造過程をみると単なる墓でない理由が明らかになります。 古墳の表面に表現された世界とは何だったのか、その中で埴輪はどのような役割を果たしていたのか。古墳の上で執り行われたお葬式について考えてみました。	兵庫県立考古学博物館 館長 和田 晴吾さん	三重県総合博物館 レセプションルーム	72人
10月1日		伊勢国司北畠氏と 一志郡・飯高郡	今回の特別展覧会の第3章「中世」の見どころの一つとして、一志郡・飯高郡を領有した北畠氏の資料が数多く展示されています。 南北朝時代に伊勢国に入った北畠氏は、なぜ一志郡・飯高郡を選んだか。伊勢国司北畠氏と伊勢神宮との関りの中でその理由を考えてみました。	皇學館大学 文学部 教授 岡野 友彦さん	三重県総合博物館 レセプションルーム	72人
10月23日	文学講座	「河口の 野辺にいほりて 夜のふれば」 —天平十二年 東国行幸の万葉歌—	東大寺を建立したことで有名な聖武天皇は、天平十二年(740年)十月二十九日、東国行幸に出発。伊賀・伊勢・美濃・近江の諸国を巡幸、十二月に山背国に至りました。その行幸の折の歌が万葉集に八首残されています。 そのうちの一首に「河口の 野辺にいほりて 夜のふれば 妹が手本し 思ほゆるかも」という大伴家持の歌があり、現在の津市白山町川口付近で詠まれたと考えられています。 本講座では、行幸の足跡をたどりながら八首全体について考えました。	皇學館大学 文学部 教授 大島 信生さん	津リージョンプラザ 健康教室	28人

～講座の様子～



新 津市誕生10周年記念歴史講座



新 津市誕生10周年記念特別展覧会 記念講座

北畠氏の歴史を見直しました。  
素晴らしい！

津市の歴史を知る上で  
大変勉強になりました。



文学講座

古墳時代の文化、人間生活の豊かさや、  
中国との違いが分かって興味深かった。